

2014 年度（平成 26 年度）

事業計画



公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2014 年度 ガールスカウト日本連盟事業計画

日本連盟 2020 年のビジョン：

すべての少女と若い女性が声をあげ、よりよい社会にするために行動を起こす

日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする

日本連盟 2012 年～2014 年の目標：

目標 1 少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する

目標 2 少女と若い女性が社会を変える力をつける

1. 重点課題

ガールスカウト日本連盟は、2020 年のビジョンを達成するために、女性の視点に立って、より幸せな社会・未来を目指し、世界を舞台にリーダーシップを発揮できる人材を育て・自らも行動していく組織であろうとしています。

2012 年度より取り組んでいる、女子のみの教育の意義についての研究、そして、ガールスカウトが認知度を高めるために必要なことに関する調査から、特に以下のことが明らかになりました。

- ・女子のみの活動環境が、少女が成長する過程において有効である
- ・中学生以上のプログラムに新たな視点が必要である
- ・社会に対して「少女と若い女性の声」を届ける必要がある

これらの結果を踏まえて以下の 5 点を 2014 年度の重点課題といたします。

- ① 「少女のニーズ」と「社会のニーズ」にあったプログラムの開発と指導者の育成
- ② 新規会員増および、会員継続率向上のための広報活動の充実
- ③ 都道府県連盟と日本連盟の運営力の強化
- ④ 社会への発信力の強化
- ⑤ 財政基盤の確立

また、ガールスカウトの活動・成果・社会への貢献度合いなどの見える化を一層強化し、すべての事業が会員増強につながることを最優先に実施します。

2. 重点課題への取り組み

① 「少女のニーズ」と「社会のニーズ」にあったプログラムの開発と指導者の育成

- ・年長部門のためのプログラムの開発とそれを支援する指導者の育成
- ・国際プログラムの開発
- ・プログラムの見直しおよび指導者養成方法の見直しの開始

② 新規会員増および、会員継続率向上のための広報活動の充実

- ・ガールスカウト活動で培われた力の発信
- ・テンドーフト部門の拡大
- ・大学生年代の開拓

③ 都道府県連盟と日本連盟の運営力の強化

- ・2015～2017年目標と戦略の検討
- ・都道府県連盟訪問
- ・日本連盟の事業運営方法の改変
- ・都道府県連盟との状況共有の促進
- ・会員データベースの拡充

④ 社会への発信力の強化

- ・ガールスカウトブランドの発信
- ・内部コミュニケーションの拡充
- ・社会との関係の強化

⑤ 財政基盤の確立

- ・寄付金、助成金の増強と新規開拓
- ・教育施設（ガールスカウト会館、戸隠ガールスカウトセンター）を活用したプログラムの開拓

3. 各事業内容

教育プログラム

事業名	期日	場所	内容
ガールスカウト ギャザリング	随時	全国7か所	地区大会の開催
シニア全国キャンプ	8月3～6日	戸隠ガールスカウトセンター	—
国際理解支援事業	年間	全国	海外研修渡航費補助 10グループ
ピースプロジェクト Greener×Greener II	年間	全国	ピースプロジェクト Greener×Greener 第2弾
ミャンマーフレンドシッププロジェクト	12月	全国	ミャンマー連盟との交流プログラム
USA 連盟協働プログラム	7月 19～20日	ガールスカウト会館他	日本文化紹介とホームステイプログラム
STV*キャンペーン (*Stop the Violence)	11～12月	全国	デートDV防止キャンペーンの促進
ワールドシンキングデイ	2月22日	全国	テーマ『私たちはパートナーシップによって平和を築ける』
WAGGGS-Dove (ワググス・ダブ) Project	年間	全国	Free Being Me バッジプログラムの推進
戸隠ガールスカウトセンター夏期プログラム	7月19日～ 8月31日	戸隠ガールスカウトセンター	—
地域支援事業	年間	—	ガールスカウト運動を推進する事業
教材等の出版・頒布	年間	—	—
機関誌 Girl Scouting の発行	5月, 10月, 2月	—	№40, 41, 42 各10,000部
プログラム開発 特別委員会	年間	—	年長部門プログラムの開発 国際プログラムの開発
教育・指導者委員会	年間	—	—

成人のトレーニング

事業名	期日	場所	内容
トレーナーセミナー	8月 29～31日	戸隠ガールスカウトセンター	—
	12月6～7日	国立オリンピック記念青少年総合センター	—
ガールスカウトトレーナー認定講習会・審査会	1月 11～12日	国立オリンピック記念青少年総合センター・ガールスカウト会館	—
プログラムトレーナー認定審査会	8月23日	大阪	—
	1月10日	ガールスカウト会館	—
海外研修本部派遣	年間	—	WAGGGSプログラム等へ成人会員の派遣
リーダー養成講習・指導者研修	随時	都道府県連盟で実施	—
指導者の派遣	随時	—	トレーナー不在の県連盟へのトレーナー派遣
トレーナーへの支援	年間	—	ホームページのトレーナーページの充実
ガールスカウトマガジンOLAVEの発行	7月、12月	—	№24, 25 各6,000部
指導者育成特別委員会	年間	—	—

組織と運営

事業名	期日	場所	内容
連盟長会議	11月 15～16日	国立オリンピック 記念青少年総 合センター	—
都道府県連盟訪問事業	6月～2月	滋賀県、徳島県、 愛知県、三重県、 栃木県、群馬県、 島根県、広島県、 京都府、宮城県、 奈良県、新潟県、 沖縄県	—
組織拡充のための理事等 派遣	随時	—	—
評議員会	12月13日	ガールスカウト 会館	—
顧問会	12月6日 または7日	国立オリンピック 記念青少年総 合センター	—
フレンズ オブ ザ ボード	未定	未定	—
理事会・理事連絡会	年間	ガールスカウト 会館	理事会4回 理事連絡会8回
理事研修	9月13日	ガールスカウト 会館	—
監査	5月10日	ガールスカウト 会館	—
第86回定時総会	5月24日	ガールスカウト 会館	—
第35回世界会議への出席	7月5～9日	香港	—
戦略検討特別委員会	年間	—	—
調査研究特別委員会	年間	—	—
組織・運営委員会	年間	—	—
事務局の強化	年間	—	—

社会との関係

事業名	期日	場所	内容
全国説明会	年間	7会場	日本のガールスカウト運動の方針と方向性の共有
ガールスカウトのPR	年間	—	ガールスカウトの日、国際ガールズデイ、ワールドシンキングデイの取り組みなど
広報資料の作成	年間	—	—
ホームページ等の運営	年間	—	—
東日本大震災支援プロジェクト			—
いきるちからキャンプ	8月1～3日	戸隠ガールスカウトセンター	
ガールスカウト キャラバン	随時	—	
登録費等助成	随時	—	
県連盟事業助成	随時	—	
社会との連携	年間	—	—

会員

事業名	期日	場所	内容
ともだち増やそう作戦	12月～	全国各団	テンドーフット部門会員増強のための体験活動集会の実施
表彰	—	—	功労章、永続奉仕章、感謝状等
会員継続率向上のための取り組み	—	—	会員の保護者へのメッセージの発信等
会員データベースの運営	—	—	データベースの利用促進

財政

事業名	期日	場所	内容
ガールスカウト会館の運営	—	—	—
戸隠ガールスカウトセンターの運営	—	—	—
戸隠ガールスカウトセンター春期・秋期利用	春期： 4月29日～ 7月14日 秋期： 9月1日～ 11月10日	戸隠ガールスカウトセンター	—
需品頒布事業	—	—	—
トレフォイルの集い	9月もしくは 10月	ガールスカウト会館	—
財政検討委員会	年間	—	日本連盟の財政計画を検討する
財務委員会	年間	—	日本連盟の資金調達活動を行う

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2020年のビジョン：

すべての少女と若い女性の一人ひとりが尊ばれ、世界を変えるために行動を起こす

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命：

少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 2012年～2014年戦略的計画の目標：

- 目標1 少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供する
- 目標2 少女と若い女性が世界を変える力をつける

創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は、
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち
心身ともに健康（Health）で、人に役立つこと（Helpfulness）に
幸せ（Happiness）を感じることができる市民に育てることである。



ベーデン-ポウエル卿とオレブ ベーデン-ポウエル

ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)